

介護保険制度の 改正

高齢者の増加に伴い介護が必要な方が増えています。高齢者が住み慣れた地域で暮らし続け、介護保険制度が持続できるようにするために8月から制度が改正されます。

◆一定以上所得のある方の自己負担を1割から2割へ引き上げ

一定以上の所得のある65歳以上の被保険者については、自己負担の割合が2割に引き上げられます。介護保険の認定を受けている方へ7月末までに負担割合が書かれた介護保険負担割合証を送付いたします。

◆食費・部屋代の負担軽減の基準が変わります

特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの費用のうち、食費や居住費は自己負担ですが、低所得者の方については申請することで一部負担が軽減されています。今回の改正で、この自己負担軽減の対象が見直されます。

また、平成29年4月から訪問介護・通所介護については市町村が行う介護予防・日常生活支援総合事業に移行し、全国一律のサービスから地域に合わせたサービスが提供できるようになります。

申請・問い合わせ
保健福祉総合センター内
健康福祉課 介護保険係
☎79-0912

「骨密度」(BMD・Bone Mineral Density)は、骨がもろくなっているかどうかを知る代表的な指標です。骨塩量や骨塩定量、骨量とも呼ばれ、骨に存在するミネラル(カルシウムなど)がどの程度あるかという単位面積あたりの骨量を示し、骨の強度を表しています。骨密度は体の成長と共に増加し、ある時期を境に徐々に減少していきます。骨密度が頂点に達する時期は、男性で約25～30歳前後、女性で約20～25歳前後



骨密度について



国保東庄病院
佐藤 功一 放射線技師

と言われています。女性の場合、閉経により女性ホルモンの分泌が急激に低下するため、それに伴って骨密度が著しく減少します。男性の場合は、老化に伴いカルシウムの吸収率が低くなるため、70歳を越えると骨密度が減少しやすくなります。骨密度の測定方法には、次のようなものがあります。

○超音波を用いた方法
・QUS法：かかとの骨に超音波を当てて骨密度を測定する方法です。X線

を使わないので妊婦の測定も可能で、時間も1分程度と短くてすみます。が、精度はやや落ちます。○X線を用いた方法

・MD法：人差し指にX線を当て、手の骨と厚さの異なるアルミニウム板とを同時に撮影し、骨とアルミニウムの濃度を比較することによって骨密度を測定する方法です。検査が短時間で済みます。・DEXA(デキサ)法：エネルギーの低い2種類のX線を使って測定します。測定部位は、腰椎(腰の骨)、大腿骨(太もものつけ根)、手の骨、前腕骨、脊椎、全身の骨などですが、骨折を起こしやすい部位を直接測ることで、高い精度の骨密度が分かります。現時点では

腰椎のDEXA法が最も信頼の高い骨密度測定法です。当院では昨年末に最新鋭の骨密度測定装置(DEXA法)を導入いたしました。腰椎、大腿骨の骨密度を直接測定し骨折のリスクを評価します。

骨密度がもともと少ない人や、減り方が激しい人は早く治療することで骨粗しょう症の進行を防ぐことができます。また、近年では骨粗しょう症を治療する薬も開発されていますので、より早期発見、早期治療が大切です。ご興味を持たれた方は、お気軽に当院スタッフまでお申し付けください。お問い合わせ
東庄病院 ☎1177

骨密度がもともと少ない人や、減り方が激しい人は早く治療することで骨粗しょう症の進行を防ぐことができます。また、近年では骨粗しょう症を治療する薬も開発されていますので、より早期発見、早期治療が大切です。ご興味を持たれた方は、お気軽に当院スタッフまでお申し付けください。お問い合わせ
東庄病院 ☎1177

東庄病院の診療日
7/1～8/10

内科	月～金曜日の午前および第1・第3土曜日の午前
整形外科	毎週火曜日の午前(要予約)

(受付時間は午前11時まで)

※救急患者については、休診日および時間外でも24時間体制で診療しますので、電話連絡のうえ来院してください。☎86-1177